

つかさ会会員の皆様、こんにちは。

5月13日は、つかさ会の総会と講演会です。先月号に同封した葉書、返信いただけましたでしょうか？ 総会と言っても、そんなに堅苦しい会ではありません。講演会も眠くなるような会にはしないように計画しています。また、これまでいらっしゃった方が飽きないように、毎年違った内容を準備しています。糖尿病の知識を得るだけでなく、糖尿病と仲良く生活できる手助けができるといいな～とスタッフ一同思っております。今月も案内を再度全員に同封いたしました。ごめんなさい、欠席の連絡を頂いた方にも入れてしまいました。もしも都合が良くなったら…出席に変更されるのも歓迎いたします。

さて、つかさ会事務局は岐阜県支部の事務局も兼ねております。岐阜県支部のホームページですが、2010年3月よりカウントしている閲覧回数が、つい先日3,000件を超えました。多くの方々に見ていただいている様です。インターネットをされる方は是非ご覧ください。ところで日本糖尿病協会本部はfacebookを始めたそうです。そこまでは僕もついて行けておりません…残念ながら。友の会も幅広い年齢の方が入会されております。僕たちスタッフも、これからも幅広く頑張っていきます。どうぞ宜しくお願いします。

今月号の『さかえ』では、“1型糖尿病とともに生きるートップアスリートの決意(P33)”は如何でしょうか。他人は他人、別世界の人、まあそう言われればその通りなのですが、糖尿病でインスリンを打っている方でも出来ないことはないようです。それでは“読者のひろば(P52)”は如何でしょうか。もう少し身近に感じませんか？ この広場では頑張ってみえる記事も、いろいろと辛い思いを綴られている記事もあり、共感できる場所ですね。“サマーキャンプ卒業生、元気です(P9)”50年前に小児糖尿病患者さんとしてキャンプに参加された方々の声、一読の価値があると思います。

次に“糖尿病うそ!?!ほんと!?(P54)”で「がん検診」の話が載っています。皆さん、がん検診受けていらっしゃいますか？ 糖尿病で定期的に病院に行っているから～と言って検診を受けられていない方、御用心ください。本文に書いてある通りで、保険診療では症状が無い場合や強く疑わない限り検査は出来ません。癌と言え、一昔前には死を宣告されているようなものでした。まずは家族に事実を伝え本人には時期を見計らってやんわりと伝えたりしたものです。現代では医療の進歩により、おおかたの癌は治療で進行を遅らせたりできるようになり、早期に発見した場合は治すことができる場合もあります。

健康で長生きできるように是非とも検診受けましょうね。

